

平成30年度

胃がん検診結果報告

公益財団法人
福井県健康管理協会
西村 宣広

健康福祉センター管内別受診者数(集団検診)

平成30年度

管内	受診者数 (人)	増減 (人)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見率 (%)
福井	4,655	+1,191	7.0	76.3	0.08
奥越	1,443	+244	6.4	64.5	0
丹南	2,217	+272	7.2	75.5	0.09
坂井	1,327	-87	9.9	71.8	0.08
二州	1,718	-23	4.9	85.9	0.17
若狭	863	-93	5.1	81.8	0
計	12,223	+1,504	6.8	75.4	0.08

(若狭町は二州管内にて集計)

胃がん検診受診者（総数）

平成30年度

受診者数	29年度（人）	30年度（人）	増減（人）
集団検診	10,719	12,223	+1,504
個別検診	6,236	9,210	+2,974
合計	16,955	21,433	+4,478

要精検率と精検受診率(集団検診)

平成30年度

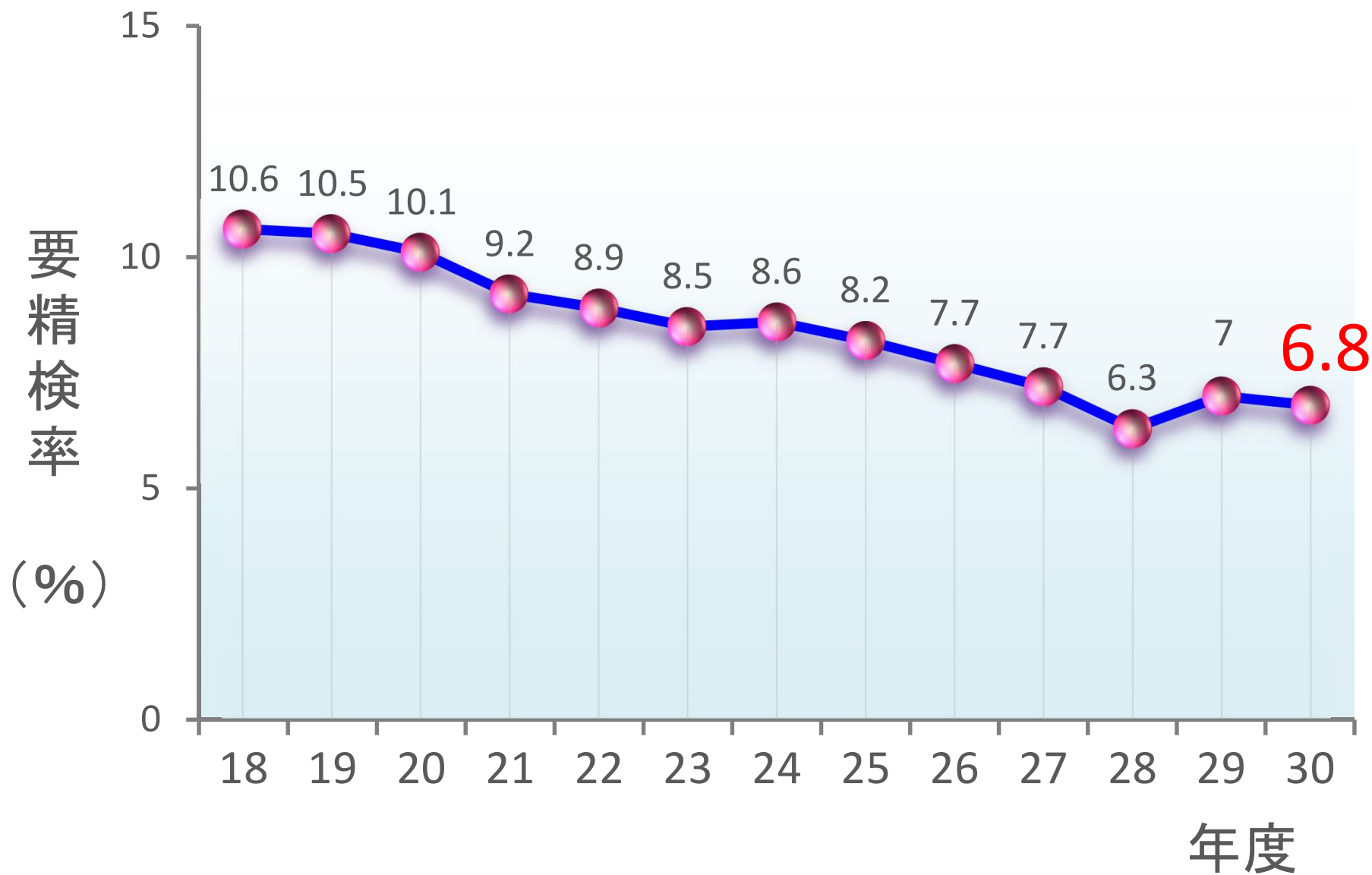
要精検率(%)

精検受診率(%)

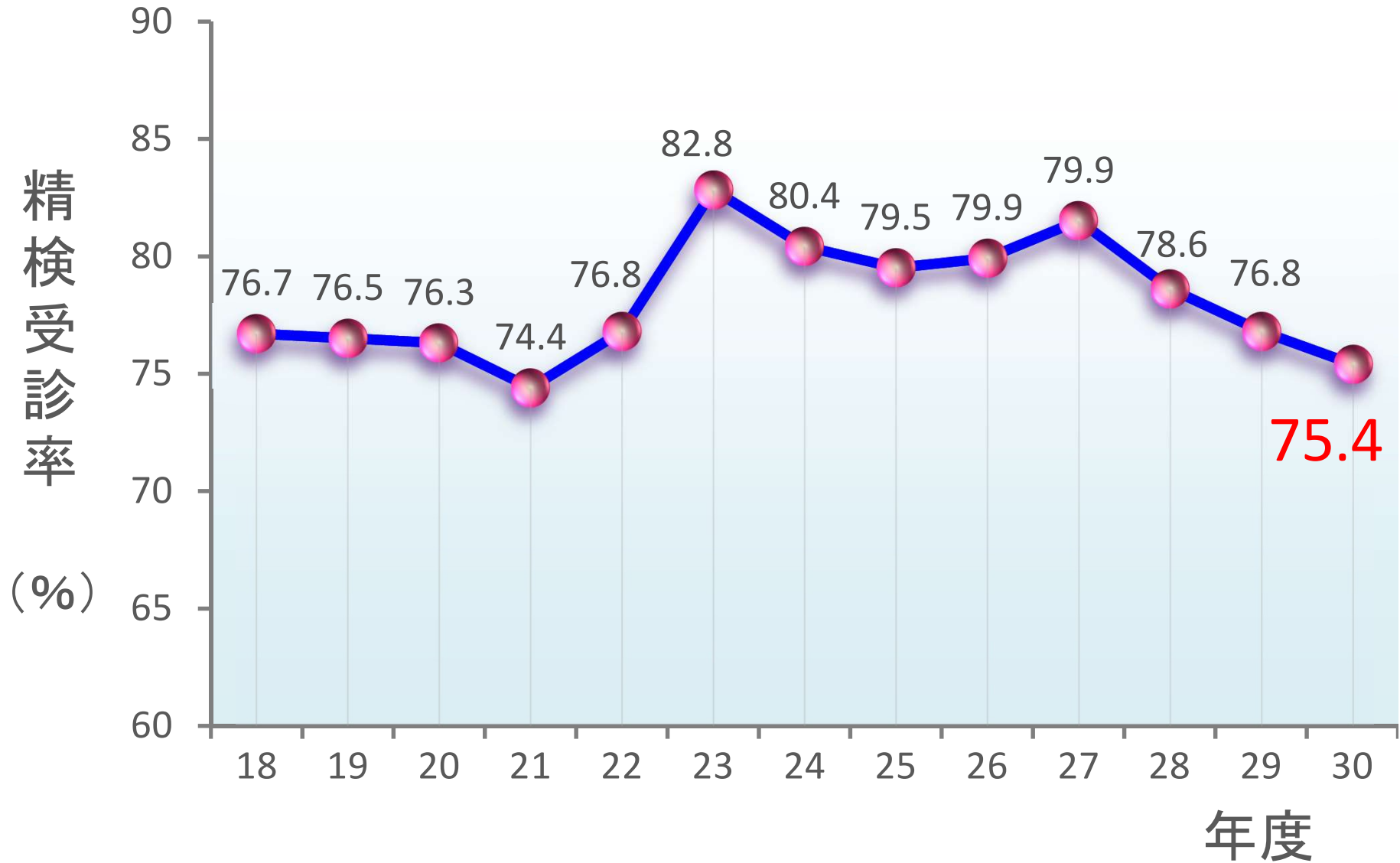
要精検率(%)			精検受診率(%)		
男	女	合計	男	女	合計
7.5	6.3	6.8	71.0	79.5	75.4
※全国		6.8			80.1

※平成28年度地域保健・健康増進事業報告

要精検率の推移(集団検診)



精検受診率の推移(集団検診)



がん発見率(集団検診)

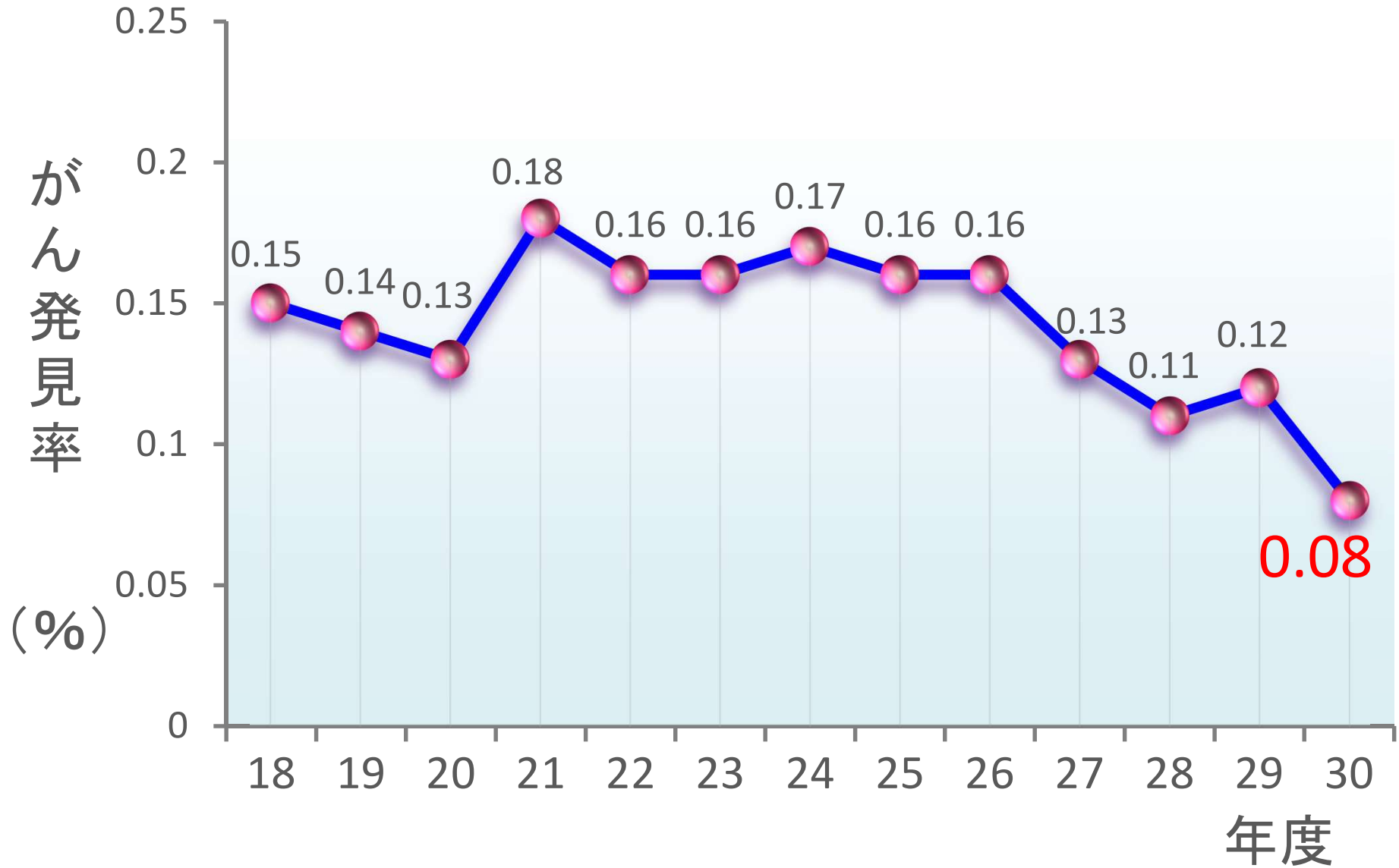
平成30年度

がん発見数

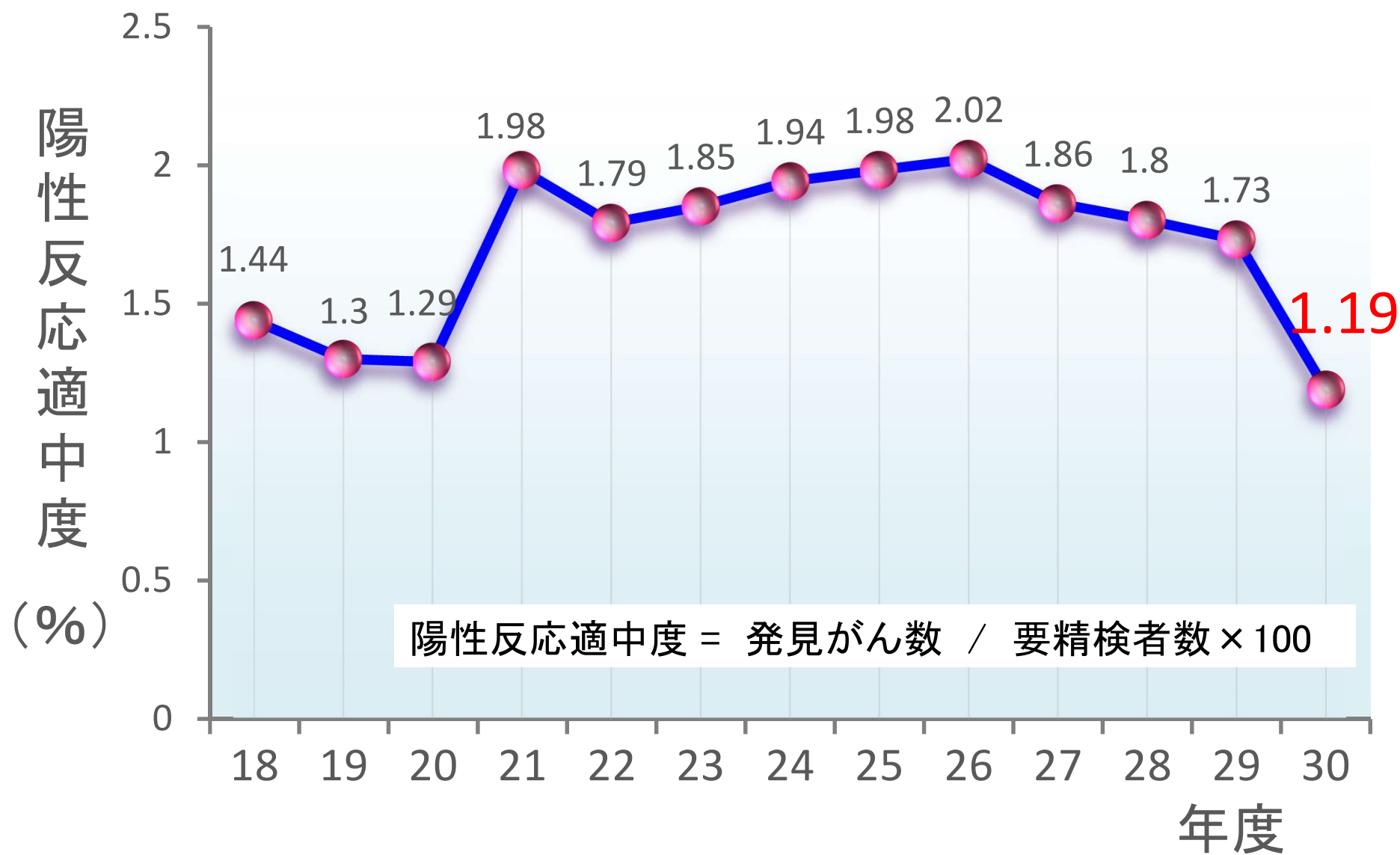
男	女	合計	発見率(%)
8(3)	2(1)	10(4)	0.08
※全国			0.1

※28年度地域保健・健康増進事業報告 ()進行がん内数

がん発見率の推移(集団検診)



陽性反応適中度の推移(集団検診)



発見がん症例数(集団検診)

【症例総数 10例】 (早期6例)(進行4例)

症例報告書未報告: 1

早期がん比率: 60%

(ESD・EMR 4例 / 40%)

報告症例9症例の深達度

M	SM	MP	SS	SE	SI
5	1	2	1	0	0

発見がん9症例の占居部位（集団検診）

平成30年度

	L	LM ML	M	MU UM	U	合計
前壁						0
小彎	5	1	1			7
後壁						0
大彎	1					1
全周		1				1
合計	6	2	1			9

逐年検診で発見された胃がん(集団検診)

平成30年度

【早期がん 6例】

2年前受診あり:	5例	異常なし	3例
		要精検	2例
		(未受診	1例)
		(経過観察	1例)

【進行がん 3例】

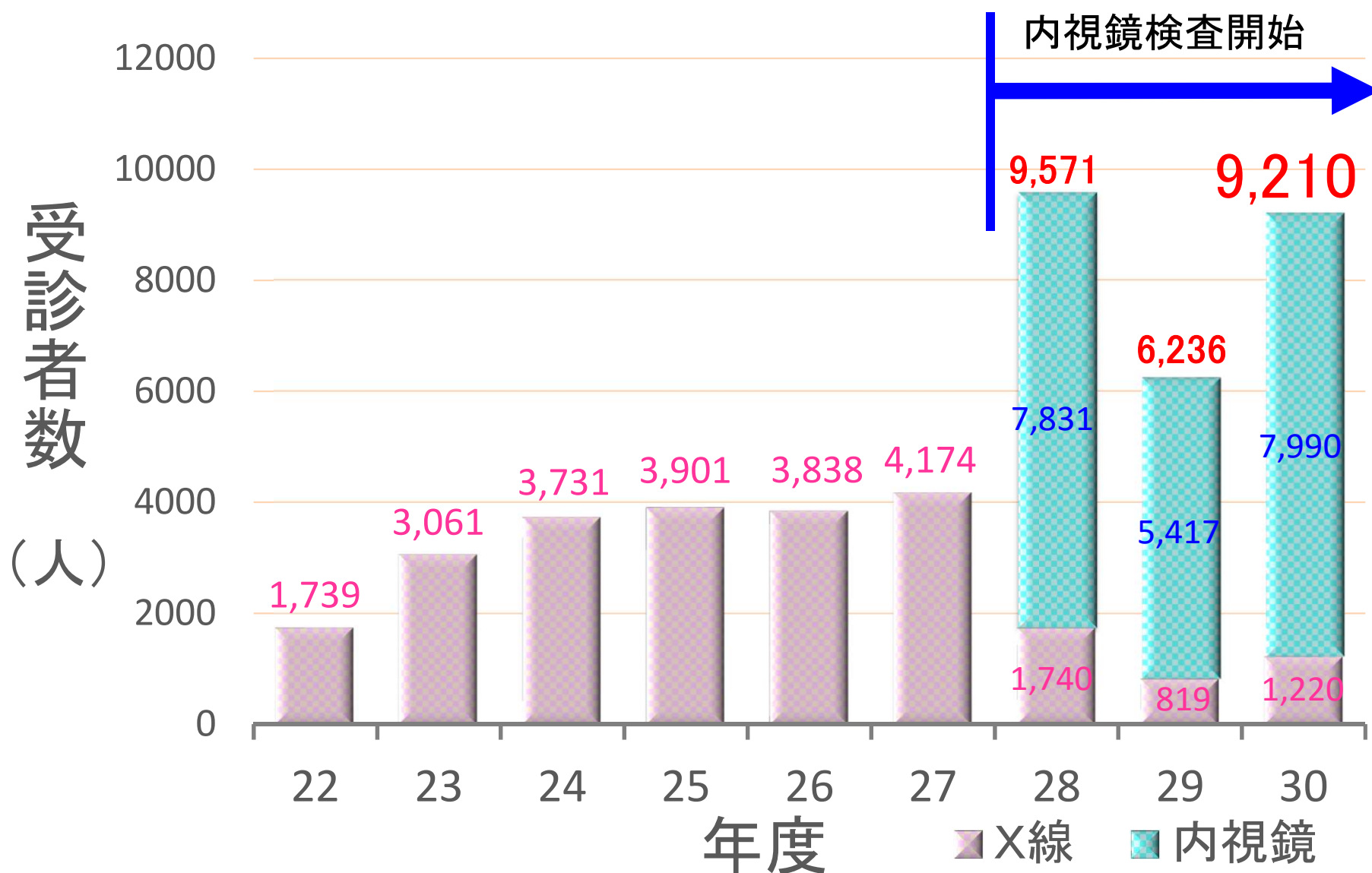
2年前受診あり:	2例	異常なし	2例
----------	----	------	----

進行がん 3症例の内訳(集団検診)

平成30年度

受診歴	肉眼型	占居部位	大きさ (mm)	深達度	stage	遠隔地 臓器転移	組織 分類
初回	2型	ML・全周	90×65	MP	ⅢA	M0	sig
2年前	3型	L・小彎	48×41	MP	ⅡA	M0	不明
2年前	1型	L・小彎	100×73	SS	ⅡA	M0	pap

個別検診受診者数の推移



個別検診受診者の内訳

平成30年度

受診者数	29年度(人)	30年度(人)	増減(人)
X線	819	1,220	+401
内視鏡	5,417	7,990	+2,573
合計	6,236	9,210	+2,974

健康福祉センター管内別のがん発見数と発見率 (個別検診) 平成30年度

管内	受診者数(人)	発見数(人)	発見率(%)
福井	2,407	7(0)	0.29
奥越	694	2(0)	0.29
丹南	3,872	25(3)	0.62
坂井	837	0(0)	0
二州	1,253	5(2)	0.40
若狭	147	0(0)	0
合計	9,210	39(7)	0.42

(若狭町は二州管内にて集計)

()進行がん内数

発見がん症例数 (個別検診)

【症例総数 **39**例】

(早期**32**例) (進行**7**例)

症例報告書未報告: 2例有り

早期がん比率: **82.1**%

【報告症例数 **37**例】

(早期**30**例) (進行**7**例)

報告症例37症例の深達度

M	SM	MP	SS	SE	SI	不明
25	5	2	2	1	0	2

逐年検診で発見された胃がん(個別検診)

平成30年度

【早期がん 30例】

1年前受診あり:	3例	要精検	3例
		(未受診	1例)
2年前受診あり:	13例	異常なし	9例
		要精検	4例

【進行がん 7例】

2年前受診あり:	3例	異常なし	3例
----------	----	------	----

個別検診 進行がん7症例の内訳

〈初回受診〉

平成30年度

肉眼型	占居部位	大きさ (mm)	深達度	stage	遠隔地 臓器転移	組織分類
3型	L・小彎	27×24	SS	I A	M0	por2
4型	全体・全周	190×140	SE	IV	M1	muc (全摘)
3型	UM・小彎	150×100	—	III C	MX	未手術
3型	ML・全周	—	—	IV	M1	未手術

個別検診 進行がん7症例の内訳

〈2年前受診〉

平成30年度

肉眼型	占居部位	大きさ (mm)	深達度	stage	遠隔地 臓器転移	組織分類
Ⅱc	U・後壁	25×15	MP	I B	M0	tub2
Ⅱa+Ⅱc	UM・小彎	25×22	MP	ⅡA	M0	por1
2型	L・後壁	47×45	SS	ⅡB	M0	por1

異所指摘率(集団検診)

平成30年度

	早期がん	進行がん
同所指摘	4	3
異所指摘	2	0
異所指摘率	33(%)	0(%)
平均	22(%)	

症例報告書未報告:1例

異所指摘された胃がん(集団検診)

- 早期

M 2例 示現性なし 2例

まとめ

- 平成30年度の集団検診の受診者数は、12,223名で前年度より1,504名増加した。
- 要精検率は6.8%、精検受診率は75.4%、がん発見率は0.08%であった。
- 発見がん数は早期がん6例、進行がん4例、合計10例で、早期がん比率は60%であった。
- 異所指摘率は22.0%で、早期がん2例であった。

- 個別検診では、X線1,220名、内視鏡7,990名、合計9,210名で、前年度より2,974名の増加となった。
- 発見がん数は、早期がん32例、進行がん7例、早期がん比率は82.1%であった。
- 胃がん検診総数は、21,433名で前年度より4,478名の増加となった。